



福祉だより



介護保険の制度について～介護保険制度についてご紹介～

介護保険とは？

介護保険制度では、40歳以上の方が被保険者（加入者）として保険料を負担し、介護や支援が必要と認定されたときには、費用の一部を支払ってサービスを利用します。

サービスを利用するためには

- 介護や支援が必要と思ったら地域包括支援センター（☎72-1677）や福祉課に相談します。
- 介護サービス、介護予防サービスを利用したい方は要介護・要支援認定申請書を提出します。介護認定調査員が自宅を訪問し、心身の状態について調査をします。調査結果は主治医意見書とともに介護認定審査会で審査・判定されます。

原則申請から30日以内に認定結果が届きます。認定結果は非該当、要支援1・2、要介護1～5のいずれかとなります。

要支援の認定を受けた方は、介護予防サービス等を利用することで、生活機能の改善が期待できます。

要介護の認定を受けた方は、介護サービスを利用することで生活機能の維持や改善が期待できます。

- 介護予防・生活支援サービス事業を利用したい方は、地域包括支援センター等の窓口で、心身や日常生活の状態を調べる基本チェックリストを受けます。チェックリストにて生活機能の低下がみられた場合は、介護予防・生活支援サービス事業対象者となり、サービスを利用することができます。

重度心身障害者医療費助成制度について

病院や診療所（薬局を含む）で診療を受けた場合に、保険が適用された医療費の自己負担を助成する制度です。ただし、入院時食事療養等は除きます。

- 助成金の額…月々の医療費から自己負担額を差引いた額を支払います。（一医療機関につき）

自己負担額…①入院のとき → 2,040円/月

②入院外のとき → 1,020円/月

$$\text{助成金} = \text{一部負担金} - (\text{高額療養費} + \text{付加給付額} + \text{自己負担額})$$

- 申請の方法 ※申請書は福祉課または各支所健康福祉係に置いています。

- ① 助成申請書太枠内（住所、氏名、電話番号等）を記入し押印する。
- ② 助成申請書の「医療機関」欄に医療機関からの証明をもらう。
- ③ 助成申請書の「調剤薬局」欄に調剤薬局からの証明をもらう。
- ④ 領収書を添付し、福祉課または各支所住民福祉係に提出する。
※金額等を確認後、領収書はお返しします。※郵送による提出も可能です。
※申請受付期間は、診療を受けた月の翌月から起算して1年以内です。



- 対象者

- ・身体障害者手帳1級、2級をお持ちの方。 ・療育手帳A1、A2をお持ちの方。
- ・精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方。

対象になる方で申請をされていない方は、上記の申請の方法をご確認の上、窓口までお越しください。ご不明な点等ございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

問合せ先 福祉課 ☎72-1229

保健だより

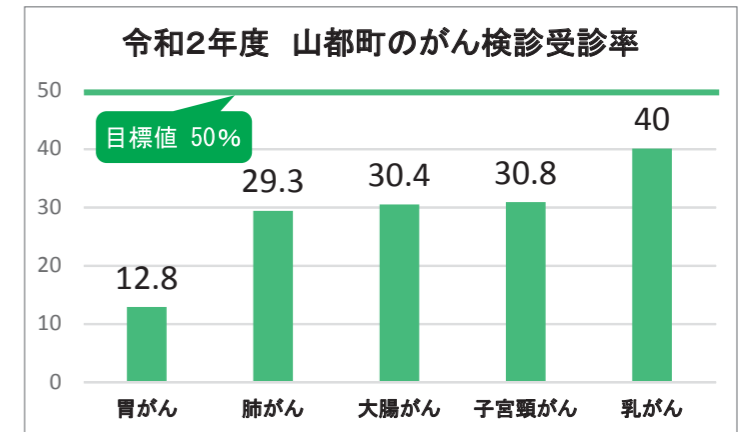


あなたと大切な人のためにコロナ禍でも年に1度健診を受けましょう

集団健診について

集団健診は、基本健診と各種がん検診を同日に、人間ドックと同等の検査を低料金で受けることができる便利でお得な健診です。

右のグラフは令和2年度の山都町がん検診受診率です。第3期がん対策基本計画で国はすべてのがん検診の受診率目標を50%としていますので、山都町はどのがん検診も目標値には届いていません。



定期的な健診は病の早期発見に繋がります

がんや生活習慣病は自覚症状がないことが多く、定期的に検査をしていれば、早期発見により治療できる可能性が高いのですが、健診を受けなかったために発見が遅れ、治療の開始が遅れたり重症化したりする方がいます。まずは自分の体をきちんと知ることが健康維持の第一歩です。



また健診は受けた後が肝心です。要精密検査と判定されても精密検査を受けず、発見が遅れ、命を失う危険もあります。検診受診を無駄にせず、精密検査を受けることで、自分の健康は自分で守りましょう。

令和4年度 山都町集団健診の日程 ◎お住まいの地区に関係なく、すべての会場で受診できます。

| 健診 | 時期 | 会場 |
|-----|-------------------------|----------------|
| 夏健診 | 6月15日～7月1日 ※6月18日、25日除く | 矢部保健福祉センター 千寿苑 |
| 秋健診 | 10月26日～11月2日 ※10月30日除く | 蘇陽支所 |
| | 11月3日～11月10日 ※11月5日除く | 清和保健センター |
| | 11月11日～11月12日 | 矢部保健福祉センター 千寿苑 |

健診会場はアルコール消毒などの感染予防対策を実施しています。

- 骨粗鬆症検診の対象年齢を年度60歳から年度70歳までに拡大しました。女性は閉経期に女性ホルモンが減少して、骨が弱くなりやすいことから、特に40歳を超えたら積極的な受診をおすすめします。
- 胃がん検診の対象年齢を安全の都合により、年度79歳に引き下げます。80歳以上の方やバリウムによる検査に不安がある方は、医療機関などで胃内視鏡検査（胃カメラ）を受けましょう。



節目人間ドックについて

年度年齢 20・25・30・35・40・45・50・55・60歳の方が対象です。

対象となる方には個別に通知を差し上げています。各健診機関の健診項目、料金等については同封のパンフレットをご確認ください。追加申込や健診機関の変更は、10月31日まで受付です。

※健診機関によっては申込み受付人数に限りがあり、定員に達した場合は受付を締め切りますので、ご了承ください。

問合せ先 健康ほけん課 ☎72-1295